

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT26066

【プログラム名】 本を残す 本を伝える ～書籍の保存と修復



開催日：平成26年9月15日(月・敬老の日)
実施機関：一橋大学
(実施場所) (社会科学古典資料センター)
実施代表者：山崎 耕一
(所属・職名) (社会科学古典資料センター・特任教授)
受講生：中学生6名
高校生4名
関連URL：<http://chssl.lib.hit-u.ac.jp/education/hirameki.html>

【実施内容】

■受講生にわかりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

本事業のもとになっている科学研究費採択課題は、「メンガー『国民学原理』初版特製本における書き込みの復刻とその内容分析」(課題番号14530004)および「西洋社会科学古典資料の書誌学的調査に基づく印刷地推定法に関する実証的研究」(課題番号23330066)であるが、細かい内容に立ち入って説明するよりも、その基礎にある考え方、特に西洋社会科学文献の奥深さや書物の修復・保存の重要性を伝えることを目的とし、以下の点に留意した。

1. 実物による体験を重視した

①本に囲まれた環境を体感できるよう、図書室(社会科学古典資料センター)を主会場とした。普段は立ち入れない貴重書庫内で西洋社会科学古典書籍等の紹介を行うことで、大学の専門図書館のアカデミックな雰囲気を感じてもらおうと共に、保存環境維持のためどのような配慮をしているかを実際に見学できるようにした。

②あらかじめ数種類の羊皮紙を用意し、実際に触ってもらい、違いを実感してもらった。

③社会科学古典資料センターに附設されている保存修復工房で実演および実習を行うことにより、資料保存の理念と実際を実地に体験できるようにした。実演および実習指導には、普段から保存活動に携わっている工房職員に活躍してもらった。

④隣接する一橋大学附属図書館を見学する時間も設け、資料の保存と利用という目的を達成するために二つの機関がどのような方法を採用しているかを説明し、両者を比較させることによって、目的の違いに応じて方法の違いが生じることを実感できるようにした。

2. 資料や教材を充実させた

①予習だけではなく後日の復習にも役立ててもらえるよう、あらかじめB4大24ページのパンフレットを作成し、送付した。パンフレットには、紙のなりたちや歴史的製本の方法、一橋大学社会科学古典資料センターが所蔵するホップズ『リヴァイアサン』や『マグナ・カルタ』についての説明、実習でおこなう紙の修理、製本、保存容器の作成方法の図解、保存や製本に関する本やウェブサイトの紹介などを掲載した。

②実習で作成したマーブル紙表紙のノートと保存容器をそのままお持ち帰りいただいた。ノートと保存容器の作り方をパンフレットで詳しく解説した。

③広報用の葉や修了証を、資料保存用に用いられる特殊な中性紙で作成し、持ち帰ってもらった。

■当日のスケジュール

9:30-10:00	受付(一橋大学社会科学古典資料センター集合)
10:00-10:20	開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)
10:20-10:40	講義(今日の概要)
10:40-11:20	講義(センター書庫見学、資料紹介)
11:20-11:30	休憩・移動
11:30-12:00	附属図書館見学
12:00-13:00	昼食
13:00-15:50	講義(修復工房の見学、道具の説明)と実習(ページ修理と簡易製本、保存箱の作成)
15:50-16:00	(途中10分休憩)
16:00	修了式(アンケート記入、ブックマイスター号授与)

■実施の様子

プログラムは貴重書室のある社会科学古典資料センターを主会場として開催した。会場まで迷わないよう、大学正門と会場前にポスターを掲示した。このポスターは、事前の広報用に近隣の駅にも掲示してもらった。

本年度は、ひらめき☆ときめきサイエンス事業推進委員会副委員長でノーベル化学賞受賞者の白川英樹筑波大学名誉教授が視察にいらっやると聞き、例年にも増して配慮して、受講者を万全の体制でお迎えできるよう入念な準備を行った。



駅に掲示しました。



①凝った装丁の本を選んで会場に展示してみました。



⑤いよいよスタート。



⑥白川先生に科研費について説明していただきました。



⑦スタッフ紹介です。



⑧書庫内の貴重書解説は付添者もご参加頂きました。



⑨説明も熱を帯びる。



⑩隣接する附属図書館での実習です。随分雰囲気が違う。



⑪お昼です。



⑫この後はいよいよ実習。2グループに分かれます。



⑬自分で表紙と糸を選んでノート製作をします。

